

山岳高原の歩き方、研究所の講座企画から

環境保全研究所では、自然ふれあい講座等を通じて、歩いて楽しむ自然観察会を数多く企画してきました。その中から、とくに「里山歩き」と「自然史王国を歩く」の二つのシリーズ企画についてご紹介します。(P2に案内図があります。)

「里山歩き」

「里山歩き」は2001年から2005年にかけて全17回、17地域で開催した講座です。北は富倉峠(飯山市)から、南は焼尾峠(天龍村)までの県内の多様な里山を元気に歩きました。この講座の特徴は、一つの分野にとどまらずに地域を丸ごと観察し味わうことを目的としたところにあります。そのため、地形・地質から動植物、気候や人文社会等の担当が毎回一緒に歩き、それぞれの専門の目で観察したうえで、参加者とともにその場で情報共有するというスタッフにとっても豪華な内容でした。この講座内容は、研究所の大きな研究プロジェクトにも活かされました。



塩の道を歩く(小谷村)

「自然史王国信州を歩く」

続いて、2006年から現在までほぼ毎年行っているのが「自然史王国信州を歩く」です。この講座は、昨年までに全11回、11地域で開催しています。この講座の最大の特徴は、地形や地質を切り口に地域の自然史に着目し、信州の自然の新たな魅力を掘り起こすことを目的としたことです。そのため、火山あり、渓谷あり、高山あり、湿原ありで、対象地域の自然史に合わせてテーマを毎年大きく変えています。とくに印象深かったのは、2012年に上田市教育委員会にご協力をいただき、上田城の土台の地質とお城の歴史との関わりをテーマとした講座です。そのご縁により、3年後にNHKの人気番組の「ブラタモリ」に取り上げられることとなり、全国にその魅力を紹介できました。各講座内容等の詳細については以下の資料に掲載していますので、興味がありましたら研究所にお問い合わせください。(富樫 均)



高山を歩く(中央アルプス千畳敷)

◆関連情報

- ・富樫 均(2005)エコツーリズムへの予感～「里山歩き」と栗ごはん～みどりのこえ31, 8-9.
- ・長野県環境保全研究所(2006)信州の里山の特性把握と環境保全のために.長野県環境保全研究所研究プロジェクト成果報告5.
- ・長野県環境保全研究所(2015)「自然史王国」信州の歩き方～自然の歴史を生かすエコツアーへの誘い～.長野県環境保全研究所研究プロジェクト成果報告11.
- ・NHKブラタモリ制作班監修(2016)ブラタモリ2.KADOKAWA, 東京.